いばらき量子線利汚用協議会 News

発行;いばらき量子線利活用協議会

No.78

QST那珂研との技術交流会を開催(11月7日)



11月7日(木)、核融合技術の研究を行っている量子科学技術研究開発機構(QST)那珂フュージョン科学技術研究所にて第3回技術交流会を開催しました(参加者数160名、内研究者100名)。

午前中の第1部では、那珂研における技術ニーズをITERプロジェクト部鈴木次長とトカマクシステム技術開発部高橋部長にご説明いただきました。その後、那珂研が有する技術シーズとして、経営企画部第3研究企画室大山室長から「那珂研の供用施設、フュージョンテクノロジー・イノベーション拠点化に関する計画」をお話しいただきました。また那珂研で開発し特許化した一般産業に応用できる技術として、「放射線環境下でも使用可能な角度センサ」と「CO₂レーザーモニター」の紹介がありました。

引き続き行われた見学会では、初めに那珂研花田所長からご挨拶と那珂研の概況を説明いただき、中央制御室の見学をした後、2班に分かれてJT-60SA本体とダイバータや試験設備を見学しました。設備を直に見られ、研究者から直接説明を聞くことができて勉強になった、設備の更新に貢献できる等感想があり好評でした。

屋からの第2部では、参加企業18社の展示会を実施しました。那珂研での技術交流会では初の試みとして、展示会前にPRプレゼンテーション(1時間)を実施しました。各社3分と短いものでしたが、研究者の方々に各社のPRポイントを聴いていただき、その後の展示ブースでの討議に引き継ぐことができました。

展示会は花田所長他幹部の方々にも見学いただき、前2回以上に盛会となりました。研究者の方々と技術交流ができ、今後の案件につながるような相談もありました。

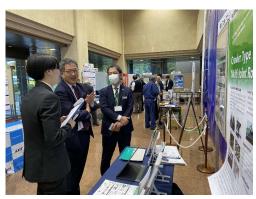
来年度も継続して開催する予定です。研究者の方々とお近づきになれる良い機会です。これまで参加されていない会員も是非参加いただきますようお願いいたします。

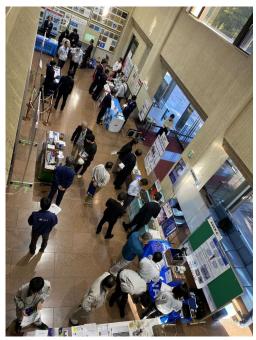
[出展企業] 18社

(株)イガデン、茨城県中性子ビームライン、(株)ヴィジブルインフォメーションセンター、(株)岡崎製作所、(株)オプトスター、(株)オメガトロン、(株)関東技研、(株)スギノマシン、助川電気工業(株)、(株)関根鉄工所、泰榮エンジニアリング(株)、

長尾産業(株)、 (株)日本アクシス、 (株)Bee Beans Technologies、 (株)ヒューマンサポートテクノロジー、 新熱工業(株)*、 (株)三友製作所*、 (有)小林製作所*

*茨城県北部地域企業連携体(NIP)





JAEAとの技術交流会(予告) (令和7年1月24日(金))

JAEAのご協力により技術交流会をJAEA原子力科学研究所にて開催します。技術展示会にて研究者との繋がりが得られるだけでなく、JAEAの有する技術シーズや発注内容を知ることができる良い機会です。

研究には様々な試験器具・装置が必要です。また研究 所で開発された技術は一般産業へ適用できるものが多く、 ビジネスのチャンスが数多くあります。

当日の概略は以下の通りです。

開催日時: 令和7年1月24日(金) 10:30~15:30

開催場所:原子力科学研究所(東海村) 先端基礎研究交流棟大会議室

内容:第1部(午前) 原子力科学研究所の状況、

ニーズ、シーズに関する講演

第2部(午後)参加企業のPRと展示会 詳細が決まり次第参加募集しますので、皆様のご参加を お願いします。